

ポスターセッション(P-01~10) 受付・昼食・休憩時 1号館1階ロビー

ポスターセッション2018

阿方 俊

ポスタータイトルからおわかりいただけるように、会員の日頃の多岐に渡る研究や実践活動が提示されます。しかし大会規模と限られたスケジュールのため、ポスターセッションとしての一定な時間帯が設けられていません。したがって発表者への質問などがありましたら、事務局・ポスターセッション担当までお問い合わせください。 info@jsekm.jp:

なお今年度のポスターセッションは、6月の幹事会で開催が決定されたため、会員の方々への開催通知が徹底されないまま発表申込みを締切りせざるを得ませんでした。お詫びを申し上げます。今後、多くの会員の方々が自由なスタイルで情報発信できる場といたたく考えていますので、よろしく願いいたします。

展示ポスター

No.	発表者	タイトル
P-01	阿方 俊 (平成音楽大学)	アジアの高等音楽教育機関における電子オルガン音楽・教育 —日本・アジア諸国から欧米へ向かう流れ—
P-02	五十嵐 優 (サウンドスケープ音楽制作会社)	中国における電子オルガンアンサンブルの潮流 —大連大学、上海音楽学院、アペカ電子オルガンアンサンブル—
P-03	市川 侑乃 (電子オルガン演奏)	オリジナル作品を通じたエレクトーン音楽の追求 —日本および韓国におけるコンサートを通して—
P-04	楠田 しおり (電磁カクテル)	エレクトーンと舞踊の新しい共生 —電磁カクテルの試みを通して—
P-05	金銅 英二 (松本歯科大学)	日本における電子オルガンの幕開け —ウィリアム・メレル・ヴォーリスとハモンドオルガン—
P-06	坂井 康二 (厚木市市民ネットワーク)	ワイアレス使用の自動伴奏 (ユリディス) の応用 —老人ホーム、幼稚園、ハーモニカ愛好会—
P-07	中村 美貴 (平成音楽大学)	アペカ (アジア・パシフィック電子キーボード協会) 「電子オルガンのためのサマーミュージックキャンプ in 珠海」レポート
P-08	松本 裕樹 (電子オルガン演奏)	ソロ、アンサンブル、コラボレーション —それぞれのスタイルでの電子オルガンの楽しみ方考察—
P-09	森松慶子・金銅英二 (アマービレ電子オルガンコンテスト実行委員会)	素のテクニックと表現力を磨く 「第6回アマービレ電子オルガンコンテスト」を開催して
P-10	和智正忠 (医学・音楽研究) ・阿方俊(平成音大)	ヤマハ電気オルガン (EO No.5A) に見るエレクトーンの原点 —取り扱い説明書および楽譜を通して—